

No. 3106

2024-2025年度

会 長 中村 吉伸  
幹 事 菅原 佳典  
クラブ広報小委員長 川口健太郎



島 海碩 書

第2640地区

例会日 毎週木曜日 12:30  
例会場 紀州有田商工会議所6F  
事務所 〒649-0304  
有田市箕島33-1  
紀州有田商工会議所2F  
有田ロータリークラブ  
Tel (0737) 82-3128  
Fax (0737) 82-1020

創 立 昭和34年6月15日  
ホームページ <http://www.aridarc.jp>  
e-mail [office@aridarc.jp](mailto:office@aridarc.jp)

～ 四つのテスト 言行はこれに照らしてから ～

1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか



### 本日のプログラム

令和7年3月6日 第3107回

- ・ 会員リレー卓話：宮井清明君、川口健太郎君
- ・ ソング：「君が代」「奉仕の理想」

### 前回の報告（第3106回例会）

開催日 令和7年2月20日(木)

点 鐘 [中村会長]

### ビジターの紹介

[親睦活動小員会 嶋田委員長]

ビジター：和歌山RC 会長 野井 和重 様  
幹事 松井 良樹 様  
SAA 中野 智一 様



和歌山RC  
会長 野井和重様にご挨拶いただきました

### ニコニコ箱の報告 [井上SAA]

中村君：和歌山RC 野井様、松井様、中野様ようこそ有田RCへ。2月11日の奉仕プロジェクト「未来へのキックオフ」には多くの御参加を賜り、誠にありがとうございました。本日IDM発表宜しくお願い致します。

菅原君：和歌山ロータリークラブ 野井会長様、松井幹事様、SAA中野様、ようこそ有田RCへ。福原君、嶋田さん、IDM発表宜しくお願い致します。

会長 野井和重君、幹事 松井芳樹君、SAA 中野智一君(和歌山RC)：和歌山ロータリークラブの野井、松井、中野です。本日は宜しくお願いいたします。

石垣君：IDMの発表宜しくお願いします。和歌山RCの皆様ようこそ有田RCへ。

上野山(捷)君：各リーダー様、IDM発表ご苦労様です。

橋爪(正)君：和歌山ロータリークラブ 会長 野井様、幹

### 2024-2025年度クラブ方針

「みんなの力を結集し、  
未来に繋がる活動を」

### 次回のお知らせ

令和7年3月13日 第3108回

- ・ 外部卓話：和田 睦氏  
(三菱電線工業 箕島製作所 所長)
- ・ ソング：「それでこそロータリー」



事 松井様、SAA 中野様、ようこそ有田ロータリークラブへ。後、IDM発表御苦労様です。

中元君：本日の後期IDMの発表よろしくお願いします。

松村君：各班長さん、IDMの発表よろしくお願いします。昨日、雪の降る中、楽しいゴルフをさせていただきました。

橋爪(誠)君：後期IDM発表宜しくお願いいたします。ようこそ有田RCへ。野井会長、松井幹事、SAA中野様、ビジター出席ありがとうございます。

川口君：後期IDMの発表、福原リーダー、嶋田リーダー宜しくお願いいたします。野井会長はじめ、和歌山ロータリークラブの皆様、ようこそ有田RCへ。

木本君：和歌山ロータリークラブ 会長 野井和重様、幹事 松井良樹様、SAA 中野智一様、ようこそ有田ロータリークラブへ。福原陽司君、嶋田恵君、本日のIDM発表よろしくお願いします。

嶋田君：和歌山RC 野井様、松井様、中野様、ようこそ有田ロータリークラブへ。本日はよろしくお願い致します。

手島君：後期IDMへ出席できず、すみません。本日は宜しくお願いします。

福田君：2/11開催の有田ロータリーカップ「未来へキックオフ」へのご参加お疲れ様でした。

井上君：各リーダー様、IDM発表お願いします。和歌山ロータリークラブのみな様、ようこそ有田RCへ。

### 出席報告

[クラブ管理運営委員会 川口副委員長]

本日の出席者20名/25名

(うち出席規定免除者6名/8名)

## 会長の時間 [中村会長]

本日は和歌山RCから野井会長、松井幹事、中野SAA、メイキャップにお越しいただきまして誠にありがとうございます。今日のお食事はいかがでしたでしょうか？有田RCの食事は毎回当クラブ会員の橋爪正芳さんが経営されております橋家さんのお弁当であります。有田ロータリークラブ自慢のお弁当ですので、ダイワロイネットの食事に飽きたらまたお越しいただければと思います。



2月11日の青少年奉仕活動「未来へキックオフ」では少年サッカーチームの子供たち、有田サッカー協会や指導者、保護者の皆様、そして有田ロータリークラブの皆様など約300人にご参加いただき、盛会裏に開催されました。対抗戦ではブレイズ湯浅が高学年、低学年ともに見事初代チャンピオンとなり、表彰式では少し緊張しながらも優勝、準優勝、優秀賞のブロンズを嬉しそうに受け取る子供たちの笑顔を見て、やってよかったと心から思いました。プログラムの立ち上げから拘わっていただいた橋爪委員長、菅原幹事始め、委員会の皆様には多大なご協力をいただき、ロータリアンの奉仕の在り方、結束力の強さを改めて教えていただきました。本年度のクラブテーマ「皆の力を結集し未来に繋がる活動を」を真に実行することが出来ました。本当にありがとうございました。

ロータリーの事業は単年度で終了するものがほとんどでしたが、RIや地区の方針転換から複数年の奉仕活動が推奨されておりますので、問題なければ次年度からも継続していただければと思います。

そして15日には3クラブ合同例会にも15人のご参加をいただきました。特別講演では前和歌山県福祉保健部技監、野尻孝子先生に和歌山方式と言われた新型コロナの対応についてご講演いただき、私もコロナ発生当時の有田市医師会会長でありましたので、毎日大変忙しかったことを思い起こし、先生のお話に聞き入った次第であります。懇親会では3クラブのロータリアンが和気あいあいと楽しい時間を過ごされておりまして、コロナ禍で失った時間を少しではありますが取り戻せたように思います。さて2月5日、6日と後期IDMを開催いたしまして、木本エレクトから提案された議題「出席率の向上、将来のクラブ運営」について議論していただきました。今年度もあと4か月ですが、本日のIDM発表も参考にさせていただきながら進めていきたいと思っています。

## 幹事報告 [菅原幹事]

### 1.2640地区

- ・ロータリー財団補助金管理セミナー開催のご案内  
[出席] 地区財団委員 中元 耕一郎君
- ・第37回全国ローターアクト研修会のご案内
- ・第9回日台親善会議札幌大会(5月31日開催)取り纏めの依頼

参加ご希望の方は幹事又は事務局まで

### 【回覧物】

- ・ハイライトよねやま 299号

- ・ローターアクト 地区献血のご案内

### 【後方掲示物】

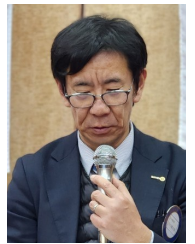
- ・地区内各クラブ例会変更
- ・議事録
- ・有田経済クラブ通信

## ロータリー友誌の紹介

[クラブ広報小委員会 川口委員長]

### 【横組】

P5 RI会長メッセージ「希望と変化の波及」ロータリー平和フェローシップについての説明とロータリー平和フェローの活動が掲載されグローバルネットワークを活用し紛争の影響を受けた地域や若者に研修の提供を行い持続可能な平和の推進に寄与、資金面や安全面を克服し大きなインパクトを与えたのは会員約120万人の力を再認識。



P8～17 特集平和構築と紛争予防月間としてジョージ武井氏のインタビューが掲載されています。氏は1937年アメリカ生まれ日系アメリカ人でテレビドラマ「スタートレック」に出演、87歳の今も俳優業、ミュージカルに執筆活動や講演会を精力的に活動しています。氏は何不自由のない生活を送っていましたが、真珠湾攻撃を機に一変、収容所暮らしから戦後も貧困と人種差別の中を生き抜き時代とともに同性愛者であることを告白し偏見や差別をなくす活動を行う。氏が出演したスタートレックの世界観は異なるバックグラウンドを持つ船員が違いを尊重し困難状況も協力して解決するドラマであつたが実際は全く違った人生であつた。民主主義の実現には教育が重要と話されています。今の時勢をどう見つめているか伺ってみたいです。

P19～25 2024年12月14～15日に横浜で開催されたロータリー研究会リポートの中のパ20、RI会長基調講演を抜粋し、これまでの伝統は大切ですが変化の激しい時代に柔軟性を持つ必要があります。私たち会員が隣の人にロータリーの経験を語る事が大切と掲載、新規入会者求めるならば私たちも変化と積重ねが必要と感じました。P26に世界ボリーデーフォトコンテスト受賞発表に当地区より岸和田東RC・藤井パストガバナーが受賞されています。

P32～35 視点ガバナーのロータリー・モメントでは各地区ガバナーの活動と成果が語られています。手弁当で活動し大変さの中にも、かけがえのない経験が掲載されています。

P36～37 (公財)ロータリー米山記念奨学会事務局の活動が掲載されています。日本と世界の懸け橋の裏方として、また昨今ではハラスメントの対応が重要となっているとの事。

P43 ロータリーアットワークに当地区和歌山東南RCの記事が掲載されています。

P48 地区大会略報に当地区が掲載されています。

P52 エンバシスト便りよりRI理事会の決定事項で、ローターアクトを重要視しています。



【縦組】

P4～8 スピーチ 映像ディレクター・作家の渡辺考氏のIM講演内容が掲載されています。文中に今は新しい戦前が昨今耳にしますが、その理由は情報の氾濫とフェイクニュースが既存のメディアにも大きな影響を与えている。戦争の始まりは自分の中の「何か」は人と比べてどうであるか？自分の正義に反する相手は排除する等、一人ひとりの心の中にあるものが次第に共感されうねりになる過程がそうではないかと、それを止めるものは話し合う事と述べています。

P9～12 この人を訪ねてでは、久留米中央RCの曾氏で、この方は裸一貫で台湾から来日し中古トラックの部品貿易から始め、現在では太陽光発電事業や国内でのトラックの販売や整備と輸出と国内売り上げが半々となっている。曾さんは会社も人も生き物だから5年後は分かりません。市場の動きを見極め準備し待っていればチャンスはやっていると話す曾さんは、過去に信頼している社員に裏切られ怒り心頭の彼にロータリーへの入会を勧めた江口氏は苦勞して事業に成功しお金も稼いだのだからロータリーの奉仕の精神を学べばもっと人間が大きくなるとの言葉で入会されたとの事、素晴らしい出会いが生まれたと感じました。



委員会報告

※会長エレクト[木本 隆昭君]

本日例会終了後、5F経済クラブにて第2回次年度理事会を開催します。理事、役員の皆様宜しくお願い致します。

※奉仕プロジェクト委員長[橋爪(誠)委員長]

2/11奉仕プロジェクト「未来へキックオフ」参加への御礼。本日も後期IDMご参加よろしくお願ひ致します。

後期IDMの発表

2024-2025年度 後期IDM

テーマ

- 1.コロナ禍以降、例会出席率が低下しています。入会以来、ロータリークラブは例会に出席する事が大事だと教わってきました。会員数も減少傾向にある中、例会運営も限られた人に偏ってきています。例会出席率を向上するにはどうすればいいのでしょうか？それとも出席にはこだわらないほうがいいのでしょうか？
- 2.クラブ会員数が年々減少しています。又、減少していく可能性が高いと考えられます。このまま会員数が減少していくと仮定して、近い将来のクラブ運営や存続を話し合いたいと思います。

【第1班】



リーダー  
福原 陽司 君

開催日時:2025年2月5日(水) 18:30～19:30

開催場所:橘家にて

リーダー福原、サブリーダーに山下先生、会員12名にてテーマ1、2について皆様からご意見を頂き、テーマ別に報告させていただきます。

テーマ①

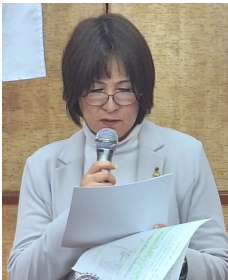
- ・例会をより魅力的にする。(食事・卓話内容など)
- ・食事をするだけであれば、例会以外の時間でも良いのでは。
- ・ロータリーに参加するのが「好き」とか「楽しい」と考えられるマインドも大切。
- ・例会のある日はできるだけ予定を入れない、木曜出席を前提に月々のスケジュールをたてています。
- ・現地参加が無理な場合はWeb出席はどうか？
- ・昔は出席率が大事であった、異業種の人達と交わって「何か」をつかめ、ということも昔はよく指導された。他者への気遣いが重視されたが最近ではどちらかというと、そういったことよりも寄付重視になってきており、違和感を感じる。
- ・そもそも出席にこだわる必要はないのかもしれない、逆に(出席の)強制力を持たせる方法としては会員1人ひとりに役割を持たせて出席せざるを得なくなる方法もある。
- ・自分がRCで何をしたいのか？目的意識を持つことが大切だと思う。
- ・例会は木曜日の昼間にやっていますが、特に現役世代の会員は仕事の兼ね合いもあり、そもそも参加のハードルが高く時間調整が難しい。
- ・仕事は最優先ですが、忙しい中皆さん努力されていますし、出来る限り出席していく。
- ・出席したくなる魅力的な例会にしていく必要があると思う。聞きたくなるような興味のある、楽しい卓話を増やしていくとか？
- ・皆さんがとても熱心に例会を運営されていますし、外部卓話が楽しみです。
- ・日々の仕事をしている途中で、仕事からロータリー例会への頭の切り替えがうまくいかず欠席することが多い。
- ・初めての会、他クラブへの例会参加などは不安で難しいが、当クラブでは、皆さん気さくで楽しい人、知った人と会うだけでも楽しい

テーマ②

- ・自分の身の周りの方に声掛けをして集めるよう、絶えず心掛けている。

- ・SNSの活用はどうか?(現在Instagramはやっている)
  - ・若い世代の会員が少ないため、若い会員視点では敷居が高い印象があり、居づらさを感じる
  - ・有田の他のRCとの合併をしてはどうか?
  - ・人口が減少している中で、7人~8人で運営しているクラブもあり、合併したクラブは数件あるが、1クラブが中心となってしまう半数が辞めている。合併も難しい。
  - ・みんなで話し合いを繰り返し、楽しさを増した例会にすればどうでしょう。
  - ・合併する意向であれば、お互い元気なうちが良いと思う。
  - ・当クラブ以外どの会も人数が減少しており、特に若い世代の人は昼間の出席は難しい。会員を増やす為、例会開催日時の変更も必要であると思います。
  - ・合併については、各クラブごとに歴史があり、開催の形が違い合併は困難である。
  - ・例会運営存続について、もちろん会員数を増加させていく事は必須ですが、面白い聞きたくなるような卓話を増やすなど、もっと楽しい会にしていくと出席率も増え、運営も容易になるのではないかな。
- 以上、様々なご意見ありがとうございました。

## 【第2班】



リーダー  
嶋田 恵 君

【実施日】令和7年2月6日 18時半~19時40分  
 【参加者】中村吉伸・成川守彦・上野山捷身・宮井清明・中元耕一郎・上野山栄作・菅原佳典・成川雅史・嶋田恵(リーダー)・橋爪誠治(サブリーダー)

会長挨拶に始まり、和気あいあいと活発な意見がかわされました。

### 【テーマ1】

- ・会員の義務は会費の納付、友誌の購読、例会への出席。
- ・出席率は紹介者の責任。
- ・出席率と言われると耳が痛い。
- ・例会には出れるときは出るように意識している。
- ・みんな例会には出たいと思っていると思う。
- ・自身の出席率を意識して高めたいと思っています。
- ・出席の統計を取ってみてはどうか?
- ・プログラムに反映できるようにしたらどうか?
- ・クラブの出席率を、どの程度の割合が適切な出席率なのか調べて、考えるのもいいと思う。(25人中 何人 ベンチマーク)
- ・他クラブの出席率の現状把握してみたらどうか?

- ・だが、忙しい会員が多いので昔みたいに出席率にこだわることは無理ではないか?
- ・仕事と重なると、例会の休みは仕方ないと思います。
- ・出席率の低い人は辞めていく傾向がある。
- ・出席の強制は難しいと思う。退会につながるのではと危惧されるという意見もありました。
- ・出席率を上げるには、楽しい例会と卓話 プログラムを重視。
- ・今のロータリーは、出席率より奉仕に力を入れていこうという、傾向があると思う。
- ・当クラブの出席率は良い方だと思う。
- ・高齢者はどうしても体の調子などの理由で休みがちだが昔はメイキャップ制度で出席率を意識した。
- ・来れる時に、来れる例会運営でいいのでは?
- ・例会風景の動画が見えるのだから、クラブ独自のメイキャップ制度を導入してもいいのでは。
- ・例会出席は重要だと思いますが、欠席している会員に、例会の動画を見てもらって出席する制度を作ったらどうか?
- ・例会運営については、例会場設営の機械類のセッティングには一部の会員に偏っているが、セッティング方法を共有しないといけないと思います。
- ・運営は決まった方がされている。
- ・今の例会運営の担当の割振りは良いと思う。
- ・例会運営に携わると出席の意欲が湧く。
- ・例会の設営の機会類のセッティングは勉強が必要だと思います。
- ・メイキャップはすべきか?  
→やるべき 期間がのびた2週間から1年間に変わったので、メイキャップの意識は低くなった。  
皆出席の表彰の意味はある。
- ・どんどんインスタが良くなってきている。

### 【テーマ2】

- ・会員増強に力をいれる 募集に力をいれる。
- ・何人ぐらいでクラブの運営できるのか?
- ・25人ぐらいなら多い方なのでは?
- ・会員全員が努力して、会員を増やすしか道がないと思う。
- ・準備をしつつ色々な存続パターンを考える。
- ・会員を増やす重要性を共有する必要がある。
- ・良い人材がそろえば楽しい例会になると思う。
- ・仲間意識を高めていく工夫が必要だと思います。
- ・若い会員が動いて会員を増やして欲しい。
- ・クラブ運営費は、川口年度でクラブ奉仕にお金を使わずにトントンであった。  
(現状のクラブ運営は赤字体質である)
- ・例会場を変えて経費削減を考えるか、会費アップを考えるか?今の会計状況を理解する必要がある。
- ・イベント事に会費を集める方法はどうか?
- ・20人を切ったら事務局を置かない。
- ・現状のクラブ運営を継続するにはどうか?
- ・昔はもっと固定費が高かった。努力して今がある。
- ・事務局の経費のウエイトが高い。
- ・事業を頑張れば費用が増える。



- ・コロナの間に貯金が出来たが、事業を頑張れば出ていくお金が増える。
- ・物価もどんどん上昇しているので、出費が上がる。
- ・固定費が大変だと思う。
- ・事務局は持ち回りの時があった。
- ・例会会場も変更を考えていいのでは？
- ・会員数が減った時は、合併はどうか？  
→全員が合併は難しいという意見でした。
- ・アメリカ人の奉仕の精神と、日本人の奉仕文化が違う。
- ・私の年度に山下さんに入会してもらいました。保田組の酒井くん 北畑くんと仲がいいので間を取り待ってもらい入会してもらおうと動いています。
- ・合併の契機にやめる人が増える。
- ・仲間意識を高めていく工夫が必要だと思います。
- ・昔40人に減ったときに合併すべきという案が出たが、現状の会員でできる活動をという風な話になった。
- ・合併の契機にやめる人が増える。
- ・有田郡市の3クラブの接点強化がとても大事に今後なると思う。3クラブ合同をとめて良い機会にして、仲間意識を高めよう。
- ・クラブ会場については会場、経済クラブ、事務局の関係がよろしいかと思われます。
- ・若い方の御活躍で、国際ロータリーの変化にも対応され、長老から若い方まで楽しんでおられると見れます。
- ・今、クラブとしてよい環境であると思います。

## 閉会・点鐘

〔中村会長〕

## 例会風景



## 有田3クラブ合同例会

日時：2025年2月15日（土）

場所：橘家



有田南ロータリークラブ  
会長 塩路信兼 様

皆さん、こんばんは。お忙しい中お集まりいただきありがとうございます。

本日は久しぶりの合同例会です。この合同例会を開催するにあたり、有田2000ロータリークラブの前会長さまはじめ会員の皆さま、そして事務局さんには大変お世話になりました。厚く御礼申し上げます。

ここ数年、各クラブ共、増強・退会防止でご苦労されている事と思います。合併してはどうかと云う話も漏れ聞こえてきますが、それぞれのクラブが自立して、たまに今日のように合同例会をすると云うのも意義深いのではないかと考えます。今宵は、お互いに親睦を深め友情を育んでいただければと思います。

それから、この後、野尻孝子先生の講演を拝聴させて頂く事になっています。令和2年に発生した新型コロナウイルス感染症の際には、全国に「和歌山方式」を情報発信し、コロナの拡大防止に努められました。先生の講話を興味深く聴かせて頂き、ロータリークラブとして、また個人個人として私たちに出来ること、奉仕活動に生かせることが出来れば大変うれしく思います。

今、インフルエンザが蔓延していますが、その陰でまだまだコロナも流行っていると聞いています。これからの時期は、加えて花粉症の症状も現れて、「インフルエンザ」なのか「コロナ」なのか「花粉症」なのか素人判断せずに症状がでたら専門医に診てもらい、ご自愛ください。

話がちょっと横道にそれましたが、野尻先生講話よろしく願います。

## 卓 話



前 和歌山県  
福祉保健部技監  
現 東京医療保健大学  
学事顧問 特任教授

野尻 孝子 様

「“和歌山方式”と言われた  
新型コロナの対応に思う」

新型コロナウイルスは、2019年に初めて確認されてから世界的なパンデミックを起こした。我が国では、2023年5月に5類感染症となるまで8回の流行の波が押し寄せたが、その後は定点医療機関からの報告で流行状況を把握するようになっている。

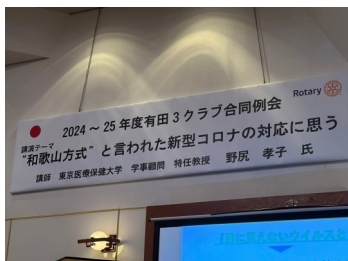
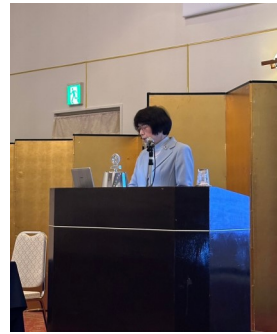
本県の新型コロナとの闘いは、全国初の院内感染で始まったが、その時の意思決定と柔軟かつ迅速な対応が和歌山モデルと評価された。その後、社会経済活動を維持しつつ感染拡大防止を図るという知事の方針の下、感染拡大防止を図るため、早期発見、早期隔離・入院、徹底した行動歴調査、保健所の統合ネットワークを活用した情報の集約・データ分析と情報発信に積極的に取り組んだ。これが“和歌山方式”である。その特色について述べる。

全員入院も特色の一つであるが、感染拡大を抑制し、死亡者を減らすために、また重症化をさせないために行った。オール和歌山で入院できる体制を構築し、私が入院先を決定して自ら病院と調整していた。第六波の途中からトリアージ入院に切り替えたが、全員入院は死亡率の減少に効果があったと考える。

パンデミックを経験して、様々なことがわかったが、基礎疾患のある方が重症化したことから健康づくりが重要であること、いざという時のためにアドバンス・ケア・プランニングを考えておくことも必要であることを伝えたい。

昨年から季節性インフルエンザが大流行しているが、新型コロナもじわりと増加している。新型コロナは遺伝子変異を繰り返しているが、その変異によってどのように社会に定着していくかは未知である。

私の現在の目標は、診療看護師を増やすことである。人口の高齢化が進行し、医師の地域偏在や診療所医師の高齢化が存在する中で必要と考えている。診療看護師について説明する。



| 日程      | 3月の例会プログラム                                                          |
|---------|---------------------------------------------------------------------|
| 3/6(木)  | <b>会員卓話リレー</b><br>宮井 清明 君<br>川口 健太郎 君                               |
| 3/13(木) | <b>外部卓話</b><br>和田 睦 氏<br>(三菱電線工業<br>箕島製作所 所長)                       |
| 3/20(木) | <b>休会</b>                                                           |
| 3/27(木) | <b>外部卓話</b><br>中尾 さなえ 氏<br>(一般社団法人<br>Smileスマイル会 理事)<br>「子ども食堂について」 |